

平成 28 年 5 月 13 日

各 位

東京都新宿区西新宿八丁目 17 番 1 号
株 式 会 社 ア ド ウ ェ イ ズ
代 表 取 締 役 岡 村 陽 久
(コード番号：2489 東証マザーズ)
問い合わせ先：
管理担当上席執行役員 田 中 庸 一
電 話 番 号 03 (5331) 6308

剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、以下のとおり、平成 28 年 3 月 31 日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議しましたので、お知らせいたします。なお、本件は、平成 28 年 6 月 28 日開催予定の定時株主総会に付議する予定であります。

記

1. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成 28 年 2 月 3 日)	前期実績 (平成 27 年 3 月期)
基 準 日	平成 28 年 3 月 31 日	同左	平成 27 年 3 月 31 日
1 株 当 たり 配 当 金	2 円 35 銭	2 円 35 銭	3 円 36 銭
配 当 金 総 額	95 百万円	—	139 百万円
効 力 発 生 日	平成 28 年 6 月 29 日	—	平成 27 年 6 月 26 日
配 当 原 資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 理由

当社グループは、中長期的な企業価値の向上に努め、株主に対する利益還元を行うことを経営の重要な課題の一つとして認識しております。その基本方針として、財務体質の強化及び将来の事業展開に備えるための内部留保の充実を中心に据えながら、その業績並びに業績の見通しに応じた適切な利益還元を実施してまいります。

当連結会計年度（平成 28 年 3 月期）につきましては、インターネット及びスマートフォン関連市場の安定的な成長を背景にスマートフォン広告及びインターネット広告事業が順調に推移したため、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、平成 28 年 2 月 3 日公表の連結業績予想を上回ることができました。

また、当期について当社の当連結会計年度の業績、株主の皆様への継続的な利益還元及び今後の企業価値向上を目的とする事業展開のための内部留保等を勘案した結果、親会社株主に帰属する連結当期純利益の配当性向15%もしくは前連結会計年度の普通配当と同額である1株当たり配当金2円35銭のどちらか高いほうを配当の目処として期末配当を実施する方針といたしており、これにより当期業績に対する配当性向15%か

ら算出される1株当たり配当金0円53銭よりも2円35銭のほうが高いため、当期の期末配当金は2円35銭といたします。

当社の配当方針につきましては、当期を含む今後3ヵ年においては当社事業年度（第1期を除く）を基準とした配当性向もしくは平成27年3月期の普通配当と同額である2円35銭のいずれか高いほうを基準とする方針としております。ただし、次期以降につきましては、大きな業績の変動や大規模なM&A等の経営環境等の変化によって、配当方針を変更する可能性があることをご留意ください。

※本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

なお、期末配当につきましては、平成28年6月28日開催予定の第16期定時株主総会の決議をもって正式に決定、実施する予定であります。

（参考）年間配当の内訳

1株当たり配当金（円）			
基準日	第2四半期末	期末	合計
配当予想		2円35銭	2円35銭
当期実績	0円00銭		
前期実績 （平成27年3月期）	0円00銭	3円36銭 （普通配当 2円35銭） （記念配当 1円1銭）	3円36銭 （普通配当 2円35銭） （記念配当 1円1銭）

（注）配当金の内訳

当期：普通配当 2円35銭

前期：普通配当 2円35銭、記念配当（海外広告事業の初の黒字化による） 1円1銭

以上